

八丈島文化協会 2022年度 第11回総会議案書



八丈島 JAZZ フェスティバル2021・代替ステージ(2021年12月19日、おじゃれホール)

日 時 2022年5月28日(金)18:00～

会 場 八丈町商工会会議室

総会次第

- (1) 開会の辞
- (2) 会長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 議長選出
- (5) 議事及び報告事項
 - 第1号議案 2021年度活動報告
 - 第2号議案 2021年度収支決算報告及び監査報告
 - ① 収支決算報告
 - ② 監査報告
 - 第3号議案 2022年度の活動計画（案）の提案及び審議
 - 第4号議案 2022年度予算（案）の提案及び審議
 - 第5号議案 2022年度役員、理事体制について
- (6) 議長解任
- (7) 文化協会の活動に対する意見交換
- (8) 閉会の辞

【資料】

- (1) 2022年度八丈島文化協会会員名簿

※終了後の懇親会は行いません。

第1号議案 2021年度 八丈島文化協会事業活動報告書

I. 協会事務事業

〈1〉八丈島の文化活動等に関する各種問い合わせ対応業務

島内外からの文化活動に関わる問い合わせがあった場合は、以下のように対応しています。また、問い合わせから、コーディネート活動に発展するものもあります。

【対応の方法】

① 富士見地区公会堂管理事務所での電話・来所受付対応

八丈町補助金の一部を人件費にあて事務員を雇用し、富士見地区公会堂管理事務所開所時間内での来所・電話に対して対応を行いました。

② 協会問い合わせ専用携帯電話での対応

問い合わせ専用電話を事務局員が常時携帯し、富士見地区公会堂管理事務所開所時間外の対応を行いました。

③ 協会問い合わせメールへの対応

事務局及び事務局がメールでの対応を行いました。

【2021年度に具体的に対応した内容】

以下のように予定されていたものが、コロナ禍のため、変更になるなどの事態が発生しました。

① 東京都主催オリパライベント「DANCE -TRUCK- TOKYO」については、文化協会に声がかかり、一定程度進行したものの、その後連絡がなくなりました（実際には八丈で撮影等実施したようでした）。協会も一定の協力をしたこともあり、できあがった映像に文化協会のクレジットをいれることを要請し実現しました。

② 都民交響楽団の2020年10月実施予定だったコンサートが延期になり、2021年6月に実施したいということで調整したのですが、結局2023年度に延期になりました。

⑤ 2021年3月に、オリパラがらみで、以下のような内容の「東京都アール・ブリュット 2021 特別展」への協力依頼がありました。

・実施日：2021年4月17日～9月26日に、なかのZERO 西館、八丈町町民ギャラリー、福生市プチギャラリー、渋谷区公園通りギャラリーで開催。八丈町は5月15日（土）～23日（日）実施予定。

・主催：東京都、（公財）東京都歴史文化財団、東京都現代美術館、東京都渋谷公園通りギャラリー。

・企画協力：社会福祉法人愛成会

・協力：中野区、福生市、八丈町

かなり連絡を密にとり、コーディネートしたり、実際にポスターに八丈島独自の日時・場所の追加をし張りだしたりしましたが、直前になって、コロナのため中止になりました。

〈2〉八丈島の文化振興に関わるコーディネート対応業務

近年、八丈町多目的ホール「おじゃれ」を活用した島外団体のステージイベントが増えています。島の窓口として文化協会に問い合わせが来て、その後、後援を確認してから支援にあたるケースが大半となっています。また、その場合には、文化協会の基盤強化のため、コーディネート料をいただくように努めつつあります。

前述の、都民交響楽団や「東京都アール・ブリュット 2021 特別展」への対応は、その例です。

〈3〉八丈島の文化振興のための、行政への要望などの活動

2020年度はコロナ禍のために文化協会関係の行事が実施できないこと、そのため、賛助金などの協力をお願いできないなどのため、日常的な協会運営（事務員の手当てその他）にさえ支障が出るということで、「新型コロナに関係しての、八丈町文化協会への町補助金についての要望書」を2020年8月に提出し、町長などと交渉しました。補助金の補助率50%は変更できないということで補助金の返還という事態は発生しましたが、補助額を加算することになりました。

2021年度もコロナ禍の状況は基本的に変わらず、部分的に実施できた行事もありましたが、やはり協賛金を島内で依頼できないということで、財政的にはかなりの困難な事態となりました。町と交渉した結果、2020年度と同じような対応をしていただけるということになりました。

〈4〉後援事業

1) 会員主催事業への後援

従来、いけばな小原流八丈支部華展、ピティナピアノステップなどを後援してきましたが、これらは、コロナ禍で中止になりました。

八丈島混声合唱団30周年記念コンサートが予定されましたが、2022年度に延期されました。

第15回八丈島歴史セミナー（「八丈実記」を読む会主催）を後援しましたが、6回分の内の5回分が2020年度から2021年度に延期になり、それが、さらに2022年度5・6月に延期になりました。

2) 一般団体主催事業への後援

延期されていたアイスランドセミナー（同セミナー支援団体事務局主催。2020年3月7日開催予定）は、2022年3月14日に実施することができました。

〈5〉文化情報発信事業

八丈島文化協会のホームページや協会報発行などを通じて、島内外にむけて情報を発信していますが、コロナ禍のため、行事も多くが中止になり、情報発信活動も困難さがありました。

① 八丈島イベントカレンダー（インターネット）運営

八丈島で開催される主要イベントの情報を集約し、協会ホームページ上に掲載。最新情報を日々更新し、SNS（ツイッター）と連動し、広く島内外に周知しました。

② 八丈島文化協会ホームページ、ブログ運営

協会加盟団体の情報を中心に、協会ブログと連動しながら、発信しました。

③ 協会報発行・・・コロナ禍のため、多くの行事が中止になり、発行は以下の3回でした。

第36号（2021年7月23日）、第37号（11月12日）、第38号（2022年1月14日）

④ 会員対象にした「FAX・メール通信」の発行

下記のように、会員向けの「FAX・メール通信」を発行しました。コロナ問題があり、協会や会員団体等のイベントの多くが中止になる中でしたが、逆にコロナ情報の提供などもあったためか、昨年度より9号多い発行でした。精力的に発行できたと考えます。

第1号（2021年4月24日発行）、第2号（6月1日）、第3号（6月17日）、第4号（6月22日）、

第5号（7月2日）、第6号（7月20日）、第7号（8月6日）、第8号（8月24日）、第9号（9月8日）

第10号（9月13日）、第11号（10月6日）、第12号（12月16日）、第13号（12月27日）、

第14号(2022年1月27日)、第15号(2月6日)、第16号(2月8日)、第17号(3月1日)、
第17号(3月10日)

<6>協会会員に対する事業

1)協会事務局(富士見地区公会堂管理事務所内)開所時の対応

富士見地区公会堂管理事務所を平日の午前中、週4日開所して事務員を配置し、以下の対応ができるようにしました。また、メールや専用携帯電話で、開所時間以外の対応もできる体制をとりました。

- ・問い合わせ、相談等受付
- ・会員むけ有料サービス(コピー、ラミネート)

2)会員交流事業

会員を対象にした交流会は、2019年度2回実施しましたが、2021年度は、昨年度に引き続きコロナ禍のため、総会(紙上総会)後の交流会も実施されず、また、単体での交流会も実施できませんでした。

<7>受託事業、指定管理事業等

八丈町より委託を受け、富士見地区公会堂指定管理事業を行いました。2021年度延べ202団体(2020年度175団体で、1.15倍)(個人利用含む)、1559人(2020年度1052人で、1.48倍)が利用しました。富士見地区公会堂は利用しやすい点がありますが、2020年度は、三根公民館の利用が再開されたことやコロナ発症もあり、利用団体数が約1/3、利用者数は約1/2に減少していました。2021年度は復活した面があります。コロナ禍や利用団体の動向などが影響しているかと思いますが、理由ははっきりわかりません。

<8>総会、理事会、役員会開催

理事会・役員会を開催し、運営に関する事項を協議決定し、運営を推進しました。コロナ禍のため、富士見地区公会堂が使用できないことがありました。役員会の開催回数は増えましたが、理事会の回数は減少しました。このような事態でしたが、必要な対応はできていたと考えます。

① 総会は、コロナ禍のため、紙上総会となりました。

② 役員会

第1回:2021年4月6日、第2回:5月9日、第3回:5月30日、第4回:7月18日

第5回:8月1日、第6回:8月6日、第7回:9月5日、第8回:10月8日、第9回:11月7日、

第10回:12月7日、第11回:1月9日、第12回:2月6日、第13回:3月6日

③理事会・・・月1回の予定でしたが、コロナ禍で実施できませんでした。

第1回:2021年4月9日、第2回:6月25日、第3回:7月23日、第4回:8月6日、

第5回:11月12日、第6回:12月10日、第7回:1月14日、第8回:3月11日

④協会の事業見直し作業

9月に行った会員へのアンケートの中に、協会活動についての意見がありました。「理事など役員の高齢化と人材不足、行事の活性化と会員の協力体制の構築について指摘したもので、改善のためのプロジェクトチーム(PT)をつくって検討すべき」というものでした。役員会・理事会で検討した結果、PTはつくりたくないものの、理事会等で検討していくこととし、検討を始めています。コロナ禍のため、会議の時間が取れない状況ですが、確認できたことから順次実施していくということで、まず、会員に文化協会への意識を高めてもらうために、全会員に会報を届けようということになり、会員数調査を行うことになっていま

す。今後、順次検討を進めていきます。

Ⅱ. 協会主催(共催)事業

〔1〕八丈町補助金交付事業

これらは、八丈町補助金を受けている事業ですが、コロナ禍のため、中止などになったものが多くありました。

1)八丈島伝統芸能継承事業(八丈島芸能文化祭)

<実施内容>

① 事業の目的

八丈太鼓や地域の踊りなどを子どもたちに継承するための取り組みを、伝統芸能団体の協力を得て年間を通じて実施し(児童生徒が参加した場合、補助金を出す)、その発表の場(八丈島芸能文化祭)を年度末に設ける。

② 芸能文化継承事業についての参加団体

八丈太鼓月曜会、八丈太鼓よされ会は年度の早くから活動ができましたが、2019年度対象だった、八丈太鼓こだま会は活動ができませんでした。年度初めに、各小・中学校に参加募集のチラシの配布を行っていましたが、2021年度も2020年度と同様コロナ禍のためにできませんでした。

③ 継承事業実施状況

	1 学 期			2 学 期			3 学 期			計		
	実施回数	参加延べ人数		実施回数	参加延べ人数		実施回数	参加延べ人数		実施回数	参加延べ人数	
		保育園	小中高		保育園	小中高		保育園	小中高		保育園	小中高
よされ会	15	8	15	9	4	7	0	0	0	24	12	22
月曜会	10	0	20	15	0	28	3	0	4	28	0	52
榎立踊り保存会	1	1	0	3	3	4	1	1	0	5	5	4
2021年度計	26	9	35	27	7	39	4	1	4	57	17	78
2020年度計	0	0	0	25	5	40	5	4	6	30	9	46

支払った金額は、2021年度 60,600円(2020年度 26,600円)。

2020年度は、2019年度と比べて、実施回数は1/3、参加人数は1/10と減少しました。2021年度は、一覧表のように、2020年度に比べてコロナ禍の中ではありましたが、参加状況は約2倍になりました。

④ 第7回八丈島芸能文化祭

コロナ禍のため、子どもたちが参加して活動した団体は2団体であり、その参加人数も少なく練習も十分にできなかったこともあり、子どもたちを中心にした芸能文化祭は実施できませんでした。

上記の状況を受け、3年連続で芸能文化祭を中止するのも問題だと考え、大人中心のものを実施しようとして実行委員会を1回開催しましたが、結局コロナ禍のために実施できませんでした。

<事業の効果>

コロナ禍の中でも、子ども達が地域での伝統芸能継承活動への参加を継続することができ、参加回数や参加延べ人数は昨年度よりは増えました。また、結果的には無理でしたが、大人中心ではありますが、芸能文化祭を開催する努力は行いました。

<事業の変更点>

コロナ禍のため、芸能活動継承保存の活動も低下し、それへの支援援助金の支出は少額になるとともに、イベントとしての芸能文化祭は実施できませんでした。

2)八丈島 JAZZ フェスティバル事業(八丈島 JAZZ フェスティバル2021)

<実施内容>

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ホールでの通常開催ができなかったため、9月にオンライン配信、12月に代替ステージを実施しました。

① オンライン配信概要

○実施日 2021年9月20日(月・祝)20時~21時30分 再生回数1482回、同時視聴数351台

○実施方法

島内の専門業者に演奏撮影と動画編集、配信を委託。YouTubeで1回のみライブ配信を実施

○演奏日・撮影場所

- ・大賀郷中学校音楽部 8月23日 大賀郷中学校音楽室
- ・富士中学校吹奏楽部・三原中学校音楽部 8月23日 富士中音楽室
- ・三原小エンジョイアンサンブル 8月23日 三原小音楽室
- ・CJP(子ども運営委員会 children Jazz Project バンド) 8月31日 旧リードアズーロ、夕日が丘
- ・三根小子供アンサンブル 9月4日 三根小体育館
- ・八丈高校吹奏楽部 第61回東京都高等学校吹奏楽コンクール演奏映像(株式会社パルス東京提供)

② 代替ステージ概要

○実施日と会場 2021年12月19日(日)八丈町多目的ホールおじゃれ

○内容 八丈ウインドオーケストラと共催し、未実施だった中高生と社会人による合同演奏を実施(8月の段階では感染予防の観点から、集まって演奏・撮影することが不可能だった)。参加団体によるアンサンブル演奏も行った。

○参加団体

八丈高校吹奏楽部、大賀郷中学校音楽部、富士中学校吹奏楽部、三原中学校音楽部、三根小学校子供アンサンブル、三原小学校エンジョイアンサンブル、八丈島社会人吹奏楽団

○来場者 305人

○プロジェクトメンバー 22人

○CJPメンバー 10人

<事業の変更点と効果>

4月にプロジェクトチームを結成し、感染予防のためアマチュアステージのみの実施に計画変更し、開催にむけて子ども運営委員会とともに準備をすすめてきましたが、8月に入り、島内で新型コロナウイルス感染が確認され、施設利用も休止となり、ホールでの通常開催ができなくなりました。そのため、演奏を録画して配信するとともに、時期を変更してのステージ開催を実施しました。

概要は変わりましたが、子どもたちの豊かな育ちのために実施する3つの目的のうち、「プロミュージシャンを招き、「本物」に触れる機会をつくとともに、島外の専門技術スタッフのサポートを受けて子どもたちが本格的なステージにたち、日常では味わうことない体験を通じて、豊かな心をはぐくむ」という点については実現できませんでした。2つ目の「子どもたちが、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるために、実行委員会の中に“子ども運営委員会 children Jazz Project”を設け大人や同世代の仲間とともに事業をやりとげる」という点については、オンライン配信にむけての宣伝活動やバンド演奏活動

を通じて実施することができました。また3つ目の「子どもたちが多くの人と関わりを持つことによって、他者を思いやる豊かな心を養うことを目的として、地元の小中高生たちが学校の枠を超えて交流を深める」という点についても代替ステージにむけての合同練習や本番の合同演奏において実現することができました。

3)八丈島島民大学講座事業

<実施内容>

① 事業の目的

混迷する時代の状況を自らの目で見きわめ、自らの手で明日を築いていくために、ともに学ぶ、地域に開かれた生涯学習の場を提供する。

② 実施主体 八丈島島民大学実行委員会 運営委員会は2回開催(7/18、3/13)

③ 第80回八丈島島民大学講座

○日 程 2021年7月24日(土)・25日(日) 午後1時～2時30分

○会 場 八丈町商工会 研修室

○入場料 無料

○共催等 (共催) 東京都立大学 (後援) 八丈町教育委員会・八丈島文化協会

○内 容

1日目は、加藤俊吾准教授(都市環境学部環境応用化学科)による「大気に関係する環境問題—光化学オキシダント・PM_{2.5} オゾンホール科学」。簡単に移動して混ざりやすい大気中の微小粒子物質は、地域的な大気汚染、地球全体の環境問題として多くの人に影響を及ぼします。微小粒子物質発生のメカニズム、影響と対策について学びました。会場での対面講座に34人、リモートでの参加者は15人。

2日目はオンライン講座で、人文社会学部阿部彩教授による「日本の子どもの貧困を考える」。13.5%(2018年値)という日本の子どもの貧困率は、コロナ禍により現在さらに上昇中。先進諸国の一つである日本で、人間としての尊厳を保つことが困難な相対的貧困の実態を多くのデータで学びました。会場のオンライン講座に36人、リモートでの受講者16人。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、入館票による健康チェック、マスク着用、手指の消毒などを行いました。

④第81回八丈島島民大学講座 ベートーヴェン生誕250年に寄せて

○日 時 2022年3月26日(土) / 27日(日) 午後2時～3時30分

○会 場 八丈町多目的ホール おじゃれ

○講 師 テノール歌手 湯川 晃 氏 ピアニスト 湯川涼子 氏

○内 容

・第1日 ベートーヴェンの生きた時代とその生涯

楽聖ベートーヴェンの生涯を演奏とお話で聞く構成が好評でした。作曲家の遺書が紹介され、聴覚障がいと音楽への情熱の葛藤のなかで、人生の危機を克服してゆく姿が同時代史と重なって、テーマの理解に役立ちました。

・第2日 障がいとともに生きたベートーヴェン 他

ベートーヴェンの曲の特色が旋律の美しさから動機を多様に展開する構成美に移っていったのは聴覚障がいと関わりがあること、ピアノ・独唱・合唱・オーケストラなどの組み合わせを試行しながら

ら第九にいたる過程が、講師のピアノと歌、さらに、録音を用いて説明がありました。講師が障がい者の第九と関わるようになったきっかけが2003年のちょんこめの第九だったこと、障がい者向けの第5パートの存在、障がい者が第九と出会って元気づけられと同時に自分たちも力づけられている経験が語られました。

二日間を通じて、美しく力強いピアノ演奏と豊かで温かみのあるテノールの歌声が聴衆を包み込み、たくさんの感動をいただきました。

入場者は延べ122人でしたが、東京都立大学の協力で実現したオンライン講座に延べ70人が参加しました。

<事業の効果>

コロナ禍の中でしたが、東京都立大学と共催の第80回八丈島民大学講座は実施でき、70人と多くの参加者がありました。また、Zoomによるオンライン講座に全国からの受講(31人)がありました。

いろいろな行事が「不要不急」なものとして自粛されたり、会場が利用できなかつたりして開催出来ない期間が続きましたが、文化活動が決して「不要不急」ではないことを多くの方が実感される機会となりました。

延期をかさねてようやく実現した第81回は多目的ホールおじゃれを会場に使用しました。40年以上続いた講座の節目となる企画でしたが、コロナ禍のため、また年度末の繁忙期と重なったこともあり、期待したほど入場者数は増えませんでした。しかし、久しぶりに生の演奏を聴くことができたこと、先生方の熱い演奏と語り、担当職員も含めオンライン中継に向けた努力が実り、参加者には充実した3時間だったことがアンケートからうかがえました。

運営委員のなかから出た「今回の講演は、みなさんととても喜んでお帰りになったのが印象的でした。私自身も、音楽と言う文化に触れた気がしました。」という言葉がすべてを言い表しています。

<事業の変更点>

第80回講座は、都立大学生を対象にした授業の日程が変更になったため、例年9月に開催していた講座を7月下旬に実施しました。また、阿部彩先生の講座は、先生が自宅から八丈島の受講者に語りかけるスタイルになりました。

第81回講座は、昨年度に計画した内容を約1年遅れて開催しました。講座開設以来40年を経過した時点で、それを記念する意味もあって当初の計画を大幅に変更し、トークコンサートの形をとりました。会場を「多目的ホールおじゃれ」に変更するとともに講師もテノール歌手とピアニストの組み合わせで二人になりました。

4)八丈島文化フェスティバル事業(第32回八丈島文化フェスティバル)

<実施内容>

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、舞台部門は中止し、作品展部門のみ実施しました。

① 舞台部門概要

○実施予定日と会場 2022年1月23日(日) 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

○参加団体

之津帆の会、声楽アンサンブル ConAnima 檜之扇会、日本民謡朝元会、八丈混声合唱団、八丈島 Soka 栄光バンド、八丈島民謡保存会(檜立太鼓会)、八丈太鼓月曜会、Heat up、ピアニカマン、千田美鈴(ソプラノ独唱)、三根小学校子供アンサンブルとゆかいな仲間たち、Yockey' 7

○舞台部門実行委員会 11人

② 作品展部門概要

○実施日と会場 2022年1月22日(土)、23日(日) 町民ギャラリー

○出展者

大賀郷中学校美術部、木下恵美、東海林ミモザ、花絢～湊直子

○来場者 208人

○スタッフ 10人

<事業の変更点と効果>

11月に出演団体・出展者を募集し、実行委員会を中心に開催にむけて準備をすすめてきましたが、1月に入り島内で新型コロナウイルス感染が確認されたため、事前に決めていた開催条件にしたがって、舞台部門は中止とし、作品展部門のみ実施しました。

舞台部門については、本番のステージは実施できませんでしたが、当フェス参加にむけて活動を再開するなどの動きもあり、島内の文化団体の活性化につながりました。作品展部門は初の単独開催となりましたが、予想以上の来場者があり、内容も好評でした。両部門とも、島内の文化的環境の向上に寄与するという事業の目的を達成できました。

5)子ども文化体験事業

<実施内容>

新型コロナウイルス感染拡大の影響で年間を通じての活動が難しく、舞台鑑賞事業のみの実施となりました。

① 舞台鑑賞事業概要

○実施日と会場 2021年12月5日(日) 三根小学校体育館

○出演・演目 水嶋一江&ストリングラフィアンサンプル「糸の森の音楽会」

○来場者 70人

○スタッフ 10人

② 映画鑑賞事業概要

2022年3月5日に八丈町多目的ホール「おじゃれ」で映画観賞会を実施予定でしたが、島内の新型コロナウイルス感染拡大を受け、計画途中で中止しました。

③ あそび体験事業概要

2021年5月3日に大賀郷園地にて子どもまつりとしてグラウンドゴルフ大会を行う予定でしたが、緊急事態宣言の発令を受け、中止しました。その後も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動計画が立てられず、実施できませんでした。

<事業の変更点と効果>

舞台鑑賞事業は子ども招待公演としての実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、一日会員を含む、会員向けの公演に変更しました。映画鑑賞事業とあそび体験事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実施できませんでしたが、舞台鑑賞事業を2年ぶりに実施し、「子どもの権利条約の精神に基づき、子どもたちの心豊かな成長を育むための文化的環境の向上に寄与する」という目的を達成できました。

6)八丈小島自然体験事業

<実施内容>

① 事業の目的

八丈小島は、かつて2つの村が存在していましたが、昭和44年に集団離島し無人島となった島です。八

丈島の一部で距離的には近いのですが、渡島の機会は非常に少ない島です。現在では伊豆諸島の原初の様相を残す唯一の島とも言われ、最近ではクロアシアホウドリの繁殖が確認されています。八丈島の子ども達がこうした自然や歴史などにふれる機会をつくるために、八丈小島への渡島体験を実施しています。

- ② 実施主体 八丈島自然っ子クラブ
- ③ 実施日 2021年7月24日(土)
- ④ 参加者数 こども22人、保護者11人、スタッフ18人 合計51人
- ⑤ 実施内容及び成果

八丈島自然っ子クラブは、コロナ禍のため例年より遅い6月中旬から会員募集を行い、コロナ緊急事態宣言期間中の7月24日(土)に厳重な感染症対策のもとでこの事業を実施しました。

朝8時に八重根漁港集合。参加者51名が渡船2隻に分乗して小島を目指しました。好天に恵まれたものの、遠い台風の影響で少々うねりがあり、安全な場所を慎重に選んで何とか鳥打地区に上陸。はじめに集落跡地付近まで散策しながら八丈小島のことを学習した後、いよいよ海遊びの開始。岩場から飛び込むと足元から水深8mもある深い海ですが、プカプカ浮かぶ子や高い岩場からの飛び込みに挑む子など、思い思いに小島の海を楽しみました。

次にスタッフや保護者の皆さんの指導のもと、全員で磯ものとり挑戦。豊かな海岸で短時間に大鍋いっぱいセノカミが採れ、昼食に磯もの汁にしておいしく食べることができました。

午後からはうねりが大きくなってきたため、安全を考慮しながらタイドプールでの磯遊びや即席スイカ割り大会を楽しんで、無人島の夏を満喫しました。

感染拡大が続くコロナの影響で、参加者を集められるか心配しましたが、今年も総勢51名が集まりたいへん有意義な1日を過ごすことができました。

<事業の効果>

無人島である八丈小島へ行くには渡船のチャーターが必要であり、多くの危険が伴うことから、島の子ども達が小島に上陸する機会はほとんどありませんでした。八丈小島体験事業に対しては、八丈島文化協会から渡船チャーター代の補助を出していただき、費用負担の軽減に伴って安全対策にも力を入れることが可能となったおかげで、多くの子ども達と小島に渡って自然や歴史文化に触れ、貴重な体験をすることができています。

<事業の変更点>

特になし。

第2号議案

2021年度文化協会運営事業収支決算書

収入

科目	2021決算	2021予算	増減	事業名	細目	2021決算	2021予算	説明				
総計	2,949,393	5,374,504	△ 2,425,111									
1 文化協会事業	2,465,399	4,889,600	△ 2,424,201	I 補助金事業	小計	2,256,893	4,687,600					
					八丈町補助金	2,200,000	2,200,000	八丈町からの当初補助金				
						-1,105,329		補助金余剰額(町への返還分)				
						299,081		八丈町補助金加算(コロナ関係)				
						67,550		自己資金(繰越金)分の追加分				
					実質補助金額	1,461,302		補助金内の小計				
					協賛金	20,000	1,030,000					
								事業協賛金 0				
								共有協賛金 20,000				
					寄付金・会場募金	133,500	90,000	各事業				
					賛助会費	97,500	60,000	島民大学				
					入場料・参加費	58,500	340,000	Jazz,子ども文化、文フェス				
					団体会費・負担金	164,000	480,000	事務、小島、子ども、文フェス				
					ホール備品使用料	0	40,000	文フェス				
					グッズ販売売上	235,000	350,000	Jazzフェス				
					コーディネート料	10,000	20,000	愛成会(アールブリュット展)				
					有料サービス	9,530	10,000	事務事業				
					雑収入	11	50	預金利子				
					繰越金	67,550	67,550					
					II 協会運営事業				小計	208,506	202,000	
									会員会費	143,000	149,000	
				寄付金	25,000	40,000						
				コーディネート料	0	2,000						
				事務委託・印刷費	40,506	10,000						
				雑収入	0	1,000	預金利子、その他					
				繰越金	0	0						
2 委託管理事業	483,994	484,904	△ 910	I 富士見地区公会堂	小計	483,994	484,904					
					委託料	314,400	314,400	町建設課				
					施設利用料	56,100	60,000	利用料				
					雑収入	4,990	2,000	灯油代、預金利子ほか				
					繰越金	108,504	108,504					

支出

科目	2021決算	2021予算	増減	事業名	細目	2021決算	2021予算	説明				
総計	2,747,466	5,374,504	△ 2,627,038									
1 文化協会事業	2,315,205	4,889,600	△ 2,574,395	I 補助金事業	小計	2,189,343	4,687,600					
					事務事業人件費	452,731	536,500					
					事務事業広報費	17,571	14,000					
					イベントスタッフ賃金	0	95,000					
					会場費	201,170	894,650	Jazz、文フェス、島民大学、				
					報償費	809,626	1,634,000	Jazz、島民大学、子ども文化				
					広報費	68,616	151,000	各事業				
					運営費	639,629	1,362,450	各事業				
					予備費		0					
					II 協会運営事業				小計	125,862	202,000	
									人件費	40,000	50,650	補助金人件費補填
									総会費	0	10,000	
									会員交流会費	0	20,000	
									通信費	25,816	30,000	切手代、振込・手数料他
									消耗品費	60,046	42,000	事務用品
									備品費	0	45,000	
									予備費	0	4,350	
2 委託管理費	432,261	484,904	△ 52,643	I 富士見地区公会堂	小計	432,261	484,904					
					管理費	282,446	319,980	人件費200h(214,946) 浄化槽維持(67,500)				
					事務費	1,056	4,000	切手、振込、その他				
					消耗品費	16,460	20,000	衛生用品など				
					通信費	106,170	110,000	電話・インターネット代				
					維持修理費	25,161	28,000	ピアノ調律料ほか				
					備品費	968	1,000					
予備費	0	1,924										

2021年度 八丈島文化協会事業補助金額算定書

繰越金

事業名	21決算収入総額	21決算支出総額	繰越額	備 考
補助金事業	2,256,893	2,189,343	67,550	補助金返還額 738,698
協会運営	208,506	125,862	82,644	
委託管理	483,994	432,261	51,733	

補助金返還の内訳

	活動事業名	21収入予定額	21決算支出額	返 還 額
①	伝統文化	201,586	47,800	153,786
②	Jazzフェス	740,789	504,362	236,427
③	文フェス	304,733	76,471	228,262
④	島民大学	512,524	512,268	256
⑤	小島体験	197,144	196,701	443
⑥	子ども文化	532,139	381,271	150,868
⑦	事務事業	506,676	470,470	36,206
	合計	2,995,591	2,189,343	806,248

2022年5月3日、2021年度の財務その他の監査を実施した。監査内容は、出納帳簿の帳票類、預金通帳類、領収書類、現金であった。監査の結果、帳票類の記帳、預金通帳による金銭の管理および出し入れ、領収書類の整理・保管ともに正確に行なわれていたことを確認した。

上記のとおり報告します。

2022年 5月 3日

監事 佐藤 謙

監事 菊池 孔介



【1】協会事務事業（補助金充当予定額 400,000 円）**〈1〉八丈島の文化に関する各種問い合わせ対応業務**

近年、八丈島の文化活動に関する島内外からの文化協会への問い合わせや、八丈町や八丈島観光協会等、他機関からの紹介で協会にきた問い合わせなどが増加しています。2019年度は、7件対応し、そのうち4件はコーディネート業務に発展しました。2020年度は、島外からのコーディネート関係のアプローチがありましたが、コロナ関係もあり進捗しなかったものの、2021年度に引き続くものがいくつかありました（その後、その多くがコロナで実現しませんでした）。

2021年度は、アール・ブリュット展が予定され、途中までコーディネート活動が進みましたが、結局はコロナのために中止となりました。都民交響楽団は、2023年度に延期になりました。

協会としては、コーディネート活動として取り組んだ場合は、規定を設けて、料金をいただくようにしています。

2022年度も引き続き、以下の通り、各種問い合わせに対応していきます。

1. 富士見地区公会堂管理事務所での電話・来所受付対応

八丈町補助金の一部を人件費にあて、専任事務員を雇用。富士見地区公会堂管理事務所開所時間内に来所や電話での問い合わせ等に対応を行います。

2. 協会問い合わせ専用携帯電話での対応

事務局開所時以外については、問い合わせ専用電話を事務局員が携帯し、対応を行います。

3. 協会問い合わせメールへの対応

富士見地区公会堂事務所開所時間は、専任事務員がメールでの問い合わせに対応。急を要するものに関しては、事務局員がメールで対応を行います。

〈2〉八丈島の文化振興に関わるコーディネート業務

近年、八丈町多目的ホール「おじゃれ」を活用した島外団体のステージイベントが増えており、その際の窓口として文化協会が問い合わせを受け、その後、後援として支援にあたるケースや、ステージイベント以外についても、単純な問い合わせ対応や情報提供の範囲を越えた対応が必要なケースが出てきています。2022年度も引き続き、依頼、要望のあったものについて、コーディネート業務を行っていきます。

〈3〉八丈島の文化振興のための業務

文化活動を行う島内団体や島民からの文化振興や島内施設に関する各種要望をとりまとめ、八丈町をはじめとする関係機関への提言や協議を行っていきます。

〈4〉後援事業

島内外の団体からの申請を受け、文化的催しなどへの後援を以下の通り行います。

〈対象〉 八丈島で行われる文化的催し

〈方法〉 申請のあった行事について、趣旨や内容を検討の上、後援を決定。

〈後援の種類〉

名義の使用、広報支援（協会サイトへの掲載等）、運営支援（理事会で協議の上実施、原則として会員のみ。ただし、島外団体には配慮する）

〈5〉情報発信業務

八丈島文化協会のホームページを通して、下記の形で、イベント情報を中心に、島内外にむけて情報を発信していきます。

1. 八丈島イベントカレンダー（インターネット）運営

八丈島で開催される主要イベントの情報を集約し、協会ホームページ上に掲載。最新情報を日々更新し、SNS（ツイッター）と連動し、広く島内外に周知していきます。

2. 八丈島文化協会ホームページ運営

協会加盟団体の情報を中心に、協会ブログと連動しながら、発信していきます。

〈6〉会員交流及び活動支援事業

会員同士の相互交流をはかり、八丈島の文化振興に寄与します。また、会員（加盟団体、個人会員、賛助会員）を対象に、交流会や情報提供、相談業務を実施します。

①会員交流会実施

②協会報発行（年5回ほど）

③FAX・メール通信発行（年12回ほど）

④会員むけ有料サービス（コピー、ラミネート、印刷）

※富士見地区公会堂管理事務所開所時に対応

⑤活動に関わるコーディネート、アドバイス、各種助成情報提供業務

〈7〉受託事業

行政機関等から委託事業の依頼があった場合、内容を役員会で検討し、理事会で承認の上、受託します。

【2】八丈島伝統文化継承事業（補助金充当予定額200,000円）

1. 事業の目的と効果

八丈島文化協会では、八丈島の伝統芸能を継承発展させるとともに島内外に発信していく

という趣旨で、2018年度まで6回にわたって八丈島芸能文化祭を開催してきました。

2019年度からは、従来の事業の在り方を見直し、島の子どもたちに八丈太鼓や地域の踊りなどを継承するための取り組みを、伝統芸能団体の協力を得て年間を通じて実施しました。そして、その発表の場としての芸能文化祭を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス発生のため、

中止しました。2020年度も引き続き、同様の趣旨で活動を実施するとともに、子どもたちの発表の場としての芸能文化祭を年度末に予定していましたが、新型コロナウイルスの関係で開催を中止することになりました。

2021年度は、子どもたちが活動に参加できていないということで、大人を中心にした芸能文化祭を実施する予定で、実行委員会を開催しましたが、結局コロナのために実施できませんでした。

2019年度から2021年度にかけては、子どもたちの活動に金銭的支援を行ってきましたが、コロナのために、活動回数も参加する子どもたちも減少する結果となってしまいました。

2022年度は、2019年度と同様な趣旨と日程で取り組みを予定しています。なお、2021年度の芸能文化祭の開催場所は、要請もあり公民館から八丈町多目的ホール「おじゃれ」に変更したため、会場費を増額しています。

2. 事業の概要

- ・事業名 八丈島伝統文化継承事業
- ・実施日程 継承活動は年間を通して行う。発表（芸能文化祭）は年度末に実施。

＜芸能文化祭について＞

- ・日時 2023年2月19日（日）
- ・会場 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
- ・実施体制 実行委員会
- ・内容
 - ◎八丈島の伝統芸能団体の活動に参加したい児童生徒を募り、参加費を援助する
 - ◎児童生徒を受け入れる伝統芸能団体に指導支援料を支払う
 - ◎受け入れ団体では、子どもたちへの継承の取り組みを年間を通じて行う
 - ◎年度末に、取り組みの発表の場としての芸能文化祭を開催する

【3】八丈島文化フェスティバル事業（補助金充当予定額 300,000円）

1. 事業の目的と効果

島内には多様なジャンルの文化活動を展開している団体・サークル・個人が多く存在します。これら島内文化団体等の発表の場として、地域住民に向けた舞台発表および作品展示の機会を設け、島内の文化的環境の向上に寄与することを目的とします。

2. 事業の概要

- ・行事名 第33回八丈島文化フェスティバル
- ・実施日 2022年10月10日（月）体育の日
- ・場所 八丈町多目的ホール「おじゃれ」、町民ギャラリー
- ・実施体制 実行委員会
- ・内容

◎出演団体、出展者を公募し、舞台部門と作品展部門を実施

◎出演・出展者と実行委員が協力して、住民手作りの文化祭典を作りあげる

【4】八丈島 JAZZ フェスティバル事業(補助金充当予定額 500,000 円)

1. 事業の目的と効果

八丈島の子どもたちの豊かな育ちのために、次の3点を目的に実施します。

- ① 音楽業界の第一線で活躍するプロミュージシャンを招き、「本物」に触れる機会をつくとともに、島外の専門技術スタッフのサポートを受けて子どもたちが本格的なステージにたち、日常では味わうことない体験を通じて、豊かな心をはぐくむ。
- ② 子どもたちが、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるために、実行委員会の中に「子ども運営委員会 (children Jazz Project=CJP)」を設ける。大人や同世代の仲間とともに事業をやりとげた後の達成感や功績が認められた時の喜びは、子どもたちの自尊感情や自己肯定感を高めることにつながると考える。
- ③ 子どもたちが多くの人と関わりを持つことによって、他者を思いやる豊かな心を養うことを目的として、地元の小中高生たちが学校の枠を超えて交流を深める機会とする。

2. 事業の概要

- ・行事名 八丈島 JAZZ フェスティバル 2022
- ・実施日 2022年8月19・20日(金・土)
- ・場所 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
- ・実施体制 実行委員会
- ・内容

◎実行委員会と子ども運営委員会によるコンサートの企画・運営

◎子ども中心のアマチュアステージとプロによるライブを2日にわたり実施

◎子どもたちのデザインによるグッズの作成・販売(Tシャツ作成・販売)

◎子どもたちのデザインによる宣伝チラシ・ポスターの作成

◎小中高校生および社会人による合同練習、合同演奏

◎プロミュージシャンによるクリニックとライブ、プロと子どもたちとの共演

【5】八丈島島民大学講座事業(補助金充当予定額 250,000 円)

1. 事業の目的と効果

本事業は、町民の潜在的学習意欲に応え、「生涯学習の場」を提供することを目的とし、人文・社会・自然科学の各分野から設定したテーマに沿って島外より大学教授などの講師を招いて、講座形式で実施します。

都立大学との共催講座については、インターネット回線を使ってオンライン講座を配信し、八丈町民はじめ伊豆諸島の住民はもとより、全国で受講できるようにします。

2. 事業の概要

- ①第82回講座 主催：八丈島文化協会・東京都立大学

- ・実施日 2022年9月に予定（2日連続）
- ・場 所 八丈町商工会研修室（町役場内）
- ・講 師 東京都立大学の教授陣（テーマは大学と調整して決定）
- ・その他 この講座は、東京都立大学との共催で実施する。

②第83回講座 主催：八丈島文化協会

- ・実施日 2023年2月または3月に予定（2日連続）
- ・場 所 八丈町商工会研修室（町役場内）
- ・講師他 講師及びテーマは未定（受講者の希望を考慮し、運営委員会が選定）

【6】八丈小島体験事業（補助金充当予定額 150,000 円）

1. 事業の目的と効果

八丈小島は、かつて2つの村が存在し、昭和44年に集団移住により無人島になった稀有な歴史をもつ島です。

しかし、八丈町の一部でもある小島に、子ども達が渡島できる機会はとても少なく、小島に上陸したことがないまま成人する子も多い実態です。

自然っ子クラブでは、平成12年からほぼ毎年小島上陸体験を実施し、これまで延べ1,000人以上が参加していますが、近年、燃料費の高騰等のため多額の渡船費用がかかるようになり、これを賄うための参加費が障害となって参加を見合わせる方が多くなっています。

そこで、より多くの子ども達に金銭の負担を少なくして八丈小島への上陸体験をしてもらい、貴重な自然や歴史・文化に触れ、地元を愛する豊かな心をより一層育むことを目的として、この事業を申請します。

2. 事業の概要

- ・事業名 八丈小島自然体験事業
- ・実施日 2022年7月23日（土）、または、24日（日）
- ・場 所 八丈小島
- ・実施体制 八丈島自然っ子クラブと共催
- ・内 容

◎八重根漁港から渡船により八丈小島に上陸し、歴史、文化、自然体験活動を行う

◎船上からの観察（トビウオ等の生物や海流、小島の地形観察）

◎トレッキング（集落跡を抜け旧鳥打小中学校跡地に至る）

◎レクチャー（小島の歴史や当時の生活、ノヤギ駆除とその後の植生回復やクロアシアホウドリ繁殖地について）

◎海洋学習（磯での生物採集やシュノーケリング体験）

◎現地で採集したカメノテや魚を調理し、磯物汁として食する

【7】子ども文化体験事業(補助金充当予定額 400,000 円)

1. 事業の目的と効果

子どもの権利条約の精神に基づき、芸術文化体験活動や表現活動、あそびや自然体験活動を行い、子どもたちの心豊かな成長を育むための文化的環境の向上に寄与するとともに、島の子どもたちが八丈で生まれ育ったことを誇りに思う地域づくりに寄与することを目的とします。

2. 事業の概要

- ・事業名 八丈島子ども文化体験事業
- ・実施体制 特定非営利活動法人八丈島あそびと文化のNPO あびの実と共催

<舞台鑑賞事業>

- ・行事名 子ども招待公演 「TAP DO」による「タップダンス・パフォーマンス」
- ・実施日 2022年11月6日(日)
 - ・場 所 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
 - ・内 容

◎都市部に比べ、芸術文化に触れる機会の少ない島の子どもたちのために、優れた舞台芸術を招聘し、ライブでしか味わえない感動を届ける。

<映画鑑賞事業>

- ・行事名 あびの実映画会
- ・実施日 5月8日(日) 14:00と19:00の2回
- ・場 所 八丈町多目的ホール「おじゃれ」
- ・内 容 漁港の肉子ちゃん

◎映画館がないため、気軽に映画を見に行くことができない島の子どもたちのために、映画上映会を実施する。

<あそび体験事業>

年間を通して、星空観察、島内散策などの体験活動を実施する。

第4号議案

2022年度 文化協会運営事業収支予算書(案)

収入

科目	2022予算	2021予算	増減	細目予算	細目	2022予算小計	2021予算	説明				
総計	5,469,327	5,374,504	94,823									
1 文化協会事業	5,041,194	4,889,600	151,594	I 補助金事業	小計	4,727,550	4,687,600					
					八丈町補助金	2,200,000	2,200,000					
					協賛金	1,030,000	1,030,000	650,000				
					事業協賛金			380,000				
					共有協賛金			270,000				
					寄付金・会場募金	76,000	90,000	全事業				
					賛助会費	64,000	60,000	島民大学講座				
					入場料・参加費	340,000	340,000	Jazzフェス、子ども文化				
					団体会費・負担金	590,000	480,000	事務事業、文フェス、小島体験、子ども文化				
					ホール備品使用料	40,000	40,000	文フェス、				
					グッズ販売売上	300,000	350,000	Jazzフェス				
					コーディネーター料	20,000	30,000	事務事業				
					雑収入	0	50	預金利子ほか				
				繰越金	67,550	67,550	全事業					
				II 協会運営事業	313,644	202,000		小計	313,644	202,000		
						140,000	149,000	個人、団体、賛助	会員会費	140,000	149,000	
						20,000	40,000		寄付金	20,000	40,000	
						20,000	2,000		コーディネーター料	20,000	2,000	
						50,000	10,000	主催・共催事業、個人利用	事務委託・印刷費	50,000	10,000	
						1,000	1,000	預金利子、その他	雑収入	1,000	1,000	
	82,644	0		繰越金	82,644	0						
2 委託管理事業	428,133	484,904	△ 56,771	I 富士見地区公会堂	428,133	428,133	484,904					
						委託料	314,400	314,400				
						施設利用料	60,000	60,000	会員、個人の利用料			
						雑収入	2,000	2,000	灯油代、預金利子ほか			
						繰越金	51,733	108,504				

支出

科目	2022予算	2021予算	増減	細目1予算	細目	2022予算小計	2021予算	説明				
総計	5,469,327	5,374,504	94,823									
1 事業費	5,041,194	4,889,600	151,594	I 補助金事業	4,727,550	4,727,550	4,687,600					
						人件費	677,108	645,500	事務員費、書記・会計手当・イベントスタッフ賃金、			
						会場費	999,570	894,650	Jazz、文フェス、島民大学、子ども文化			
						報償費	1,720,000	1,634,000	Jazz、島民大学、子ども文化			
						広報費	217,100	151,000	各事業			
						運営費	1,113,772	1,362,450	各事業			
					予備費	0	0					
				II 協会運営事業	313,644	202,000		小計	313,644	202,000		
						80,000	50,650	補助金人件費補填	人件費	80,000	50,650	
						15,000	10,000		総会費	15,000	10,000	
						25,000	20,000		会員交流会費	25,000	20,000	
						30,000	30,000	切手代、振込・手数料他	通信費	30,000	30,000	
						80,000	42,000	事務用品購入	消耗品費	80,000	42,000	
						80,000	45,000	PC用品、電話機など	備品費	80,000	45,000	
						3,644	4,350		予備費	3,644	4,350	
2 委託管理費	428,133	484,904			III 富士見地区公会堂	428,133	428,133	484,904				
						管理費	275,700	319,980	人件費(208,200) 浄化槽維持(67,500)			
						事務費	1,200	4,000	切手、振込、その他			
						消耗品費	18,000	20,000	衛生用品など			
						通信費	110,000	110,000	電話・インターネット代			
						維持修理費	10,000	28,000	公会堂備品修理ほか			
						備品費	10,000	1,000				
						予備費	3,233	1,924				

事業内訳

事業名	2022予算	2021予算	増減
伝統文化	461,586	441,586	20,000
Jazzフェス	1,500,789	1,570,789	△ 70,000
文フェス	700,733	700,733	0
島民大学講座	314,523	310,573	3,950
小島体験	201,144	210,144	△ 9,000
子ども文化	980,639	840,639	140,000
事務事業	568,136	613,136	△ 45,000
合計	4,727,550	4,687,600	

第5号議案

八丈島文化協会の役員等の選任について（案）

2022.05.28

今総会は、規約第10条に基づく役員・監事・理事の改選年度にあたります。

1. 役員、監事、理事

○役員・監事

役職	氏名	備考
会長	山下 和彦	かぶつ代表
副会長	山下 巧	八丈混声合唱団代表
事務局長	林 薫	個人会員
会計	菊池 洋子	NPO「あびの実」代表
監事	佐藤 謙	Pot Hall 代表
	菊池 孔介	個人会員

○理事

	氏名	備考		氏名	備考
1	伊藤 宏	八丈実記を読む会代表	2	菊池 一明	個人会員
3	笹本 薫	個人会員	4	峯尾明日香	八丈ウインドオーケストラ会員、(事務局員)
5	山下久美子	個人会員、事務局員			
6	宮部 京子	個人会員	7	木下 恵美	Soka 栄光バンド
8	山田 幸也	個人会員	9		

2. 退任者 なし

<参考>八丈島文化協会規約

第9条【役員・理事の選出】 役員・理事の選出は次のとおりとする。

- 1 理事は会員の立候補及び推薦により選出し、前任理事会が総会で報告し承認を得ることとする。
- 2 会長、副会長、事務局長、会計、監事は理事会で選考し、総会において承認を得ることとする。

第10条【役員・理事の任期】 協会の役員・理事の任期は総会から2年とする。ただし、任期中に欠員等が出た場合は、理事会で補充し、後に総会で承認を得るものとする。

- 2 役員・理事の再任は妨げない。
- 3 補欠等による役員・理事の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役員・理事は、任期満了後も、後任者が就任するまではその任務を行う。

資料1 八丈島文化協会 会員名簿

2022年5月1日現在

【団体会員】

名称		代表者名	連絡担当者	備考
八丈 伝統 芸能	樗立太鼓会	大澤 康兼		八丈太鼓
	八丈太鼓愛好会	井上啓二郎		八丈太鼓
	八丈太鼓月曜会	西浜 聡		八丈太鼓
	八丈太鼓よされ会	奥山 善男		八丈太鼓
	こだま会	山口 くるみ		八丈太鼓
	樗立踊り保存会	磯崎雄一郎	結城廣枝	八丈伝統芸能
	加茂川会	川瀬喜重子		八丈伝統芸能
伝統 芸能	之津帆の会	中田美津子		日本舞踊
	日本民謡 朝元会	榛原 良元		日本舞踊
	檜会	檜 誠之介	山下芙美子	日本舞踊
	檜之扇会	奥山千鶴子	百川正子	日本舞踊
文伝 化統	八丈俳句会	平井 園子		俳句
	八丈島平聖剣友会	井上 一		武道
演劇・ 舞踊	劇団かぶつ	山下 和彦		演劇
	コウ リマ ナニ エ	栗田 知美		フラ
	フラメンコサークル	平川絵里香		フラメンコ
	Heat UP	引田 充		ヒップホップダンス
	M-isle Ballet	今村 恵	石井暢子	クラシックバレ
音 楽	八丈ウインドオーケストラ	小室 寿哉		吹奏楽
	八丈混声合唱団	山下 巧		コーラス
	八丈島Soka栄光バンド	瀬筒 国治	木下恵美	バンド
	ピティナ八丈島Anettai支部	土屋 歌織		ピアノ学習
	ミュージックサークル“WE”	高橋 若子	高橋英介	音楽教室
	Gold Breath	小金沢有希		音楽教室
	声楽アンサンブル Con Anima	日比野 行雄		コーラス
社会 教育	(特非)八丈島あそびと文化のNPOあびの実	菊池 洋子		子ども文化活動
	八丈実記を読む会	伊藤 宏		社会教育
	八丈島自然っ子クラブ	小野 高志		野外活動

【個人会員】

氏名	備考
岩崎 由美	
内山江差夫	
菊池 一明	
菊池 孔介	
岸田 栄美	
小泉 雅一	
笹本 薫	
佐藤 謙	
土屋 信子	手工芸、華道
林 薫	
宮城 いづみ	
宮部 京子	
茂手木 清	
山下久美子	
山田 幸也	

【賛助会員】

団体・企業

名称	代表者名
一般社団法人八丈島観光協会	山下芙美子
富次朗商店	伊勢崎 富治
八丈ビューホテル	宮代 昌秀
リードパークリゾート八丈島	歌川 真哉

個人

氏名
大澤 力
奥山 弘喜
菊池 浄
笹本 長利

八丈島文化協会規約

第 1 条【名称】 この会は、八丈島文化協会（以下、協会という）と称する。

第 2 条【事務所】 協会の事務所を八丈町三根 4 8 6 9 - 1 に置く。

第 3 条【目的】 協会は、営利を目的とせず、自主的な文化活動をとおして、会員相互の交流の強化発展を図るとともに、八丈島の地域文化の普及振興に努め、生きがいある生活への指向と豊かな人間性を養い、地域づくりに寄与することを目的とする。なお、具体的な活動内容については別に定める。

第 4 条【会員】 団体の会員は、原則として島内に活動の拠点を置き、協会の目的に賛同する文化活動を行う団体とする。

2 個人会員は、前項に該当する個人とする。

3 団体会員の構成員であっても個人会員になることができる。

第 5 条【賛助会員】 賛助会員は、規約第 3 条に賛同し、支援する団体及び個人とする。

第 6 条【事業】 協会は、目的を達成するため次の事業を行なう。

1 会員相互の協力・交流及び連絡調整

2 地域伝統芸能の保存と育成

3 関係団体との事業の協力及び支援

4 講習会、講演会、実演会、研修会等の開催

5 文化芸術作品の展示及び発表会の開催

6 文化施設の充実を目的とする芸術・文化の調査研究

7 その他協会の目的達成に必要な事業

第 7 条【部会】 協会に必要な応じて部会を置くことができる。

第 8 条【役員・理事】 協会に次の役員・理事を置く。

会長 1 名 副会長 1 名 事務局長 1 名 会計 1 名 理事 10～15 名

監事 2 名 役員会は、会長、副会長、事務局長、会計で構成する。

第 9 条【役員・理事の選出】 役員・理事の選出は次のとおりとする。

1 理事は会員の立候補及び推薦により選出し、前任理事会が総会で報告し承認を得ることとする。

2 会長、副会長、事務局長、会計、監事は理事会で選考し、総会において承認を得ることとする。

第 10 条【役員・理事の任期】 協会の役員・理事の任期は総会から 2 年とする。ただし、任期中に欠員等が出た場合は、理事会で補充し、後に総会で承認を得るものとする。

2 役員・理事の再任は妨げない。

3 補欠等による役員・理事の任期は、前任者の残任期間とする。

4 役員・理事は、任期満了後も、後任者が就任するまではその任務を行う。

第 11 条【役員の任務】 役員の任務は次のとおりとする。

1 会長は協会を代表し、すべての業務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する

3 事務局長は協会の事務業務を統括する。

4 会計は協会の会計を処理する。

5 監事は協会の事業並びに会計を監査する。監事は必要に応じて協会の諸会議に出席する

ものとする。

第12条【事務局】 協会に事務局を置き、事務局長のもとで事務局員及び会計がその任にあたる。事務局員は、理事の中から委嘱し、役員会に出席することができる。

第13条【理事会】 理事会は、役員・理事で構成し、以下の活動を行う。会議の招集は会長が行う。

- 1 理事・理事会は協会の日常的な事業の円滑な推進のため、業務の執行にあたる。
- 2 理事会は次のような内容について審議を行なう。
 - (1) 総会に提案する議案の検討及び作成
 - (2) 諸規定の決定及び改廃
 - (3) その他、業務の執行に関する会長提案事項の審議
- 3 議事は、出席人員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第14条【総会】 協会の運営のため、総会を設ける。

- 2 総会は年1回開催し、団体会員及び個人会員で構成する。総会は、次の事項を審議決定する。
 - (1) 事業報告及び事業計画
 - (2) 決算及び予算
 - (3) 会則の改変
 - (4) その他必要な事項
- 3 総会の議長は出席者の中から選出する
- 4 総会は委任状を含む会員の過半数の出席で成立し、議案の議決権を持つ団体会員、個人会員、理事の出席人員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 定期総会の他、必要に応じて臨時総会を開催することができる。

第15条【顧問】 協会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は理事会の承認を得て会長が委嘱する。
- 3 顧問は会長の諮問及び会議への招請に応じ意見を述べるることができる。

第16条【会計年度】 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

- 2 協会の経費は、会費、補助金、寄付金その他の収入をもってこれに充てる。

第17条【会費】 協会の年会費は、団体会員3,000円、個人会員1,000円、賛助会員は1口1,000円とする。変更する場合は、理事会で決定し総会において承認された金額を年1回徴収する。

第18条【加盟・退会】 協会に加盟する団体会員・個人会員は、八丈島文化協会加盟申請書（様式1）を提出し、理事会の承認を得る。

- 2 協会を退会する場合は、八丈島文化協会退会届（様式2）を提出する。
- 3 規約第4条に規定する賛助会員になる者は、八丈島文化協会賛助会員申請書（様式3）を提出する。
- 4 協会の規約を遵守せず、著しく逸脱した行動を行なった会員は、活動を停止または退会させることができる。

附則1	制定	本規則は、平成24年10月10日より施行する
附則2	改正	本規則を改正し、平成25年6月28日より施行する
付則3	改正	本規則を改正し、平成26年6月17日より施行する
付則4	改正	本規則を改正し、平成27年6月3日より施行する